

令和3年度福島県ワーク・ライフ・バランス大賞について

(敬称略)

ワーク・ライフ・バランス大賞

総合的に最も取組が進んでいる企業

株式会社小野中村（建設業、相馬市）

女性管理職2名（管理職14名中）、有給休暇取得率61%、法定以上の看護・介護休暇取得可能日数など、社内制度が整備され、利用実績がある。また、外部委託保育所の設置、健康増進の取組、各種社割など福利厚生にも力を入れており、従業員が働きやすい職場環境づくりの取組が総合的に評価された。

ワーク・ライフ・バランス先進的取組大賞

総合的に取組が進んでおり、先進的かつ特徴的な取組を行っている企業

有限会社ワシオ商会（小売業、会津若松市）

不妊治療休暇、生理休暇を設けているほか、婦人科検診の費用負担、女性の健康に関する外部の相談窓口の設置など女性活躍のための取組を積極的に行っている。そのほか、66歳定年制、70歳までの継続雇用、全品100円で購入できる社食（栄養士監修の置き型惣菜）の設置など特徴的でユニークな取組が評価された。

ワーク・ライフ・バランス男女共同参画大賞

総合的に取組が進んでおり、男女が共に仕事と家庭の両立が図られるよう取り組んでいる企業

佐藤工業株式会社（建設業、福島市）

男性育児休業取得者が2名で、その取得日数も最長で67日など、休みやすく働きやすい職場環境づくりを行っており、休業から復帰する際も社員毎に復帰支援プランを作成するなど、円滑に職場復帰できる体制を整えている。その他、年2回現場の女性パトロールを実施するなど、女性の意見を反映していることなどが評価された。